



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

★想像してみてください★
もしも、あなたの大切な人が
輸血を必要としたら…

輸血に必要な血液を確保するため

400mL献血で20人以上必要です！！

♥**献血日程のお知らせ**♥

2月18日(月)

13:30~17:00

医療法人辰星会 柘記念病院

☆「400mL献血協力」で「選べる記念品」プレゼント☆



輸血を必要としている患者さんの「命」を救うことができるかもしれないのは、皆さまが献血していただいた血液だけです。
どうか、お時間を作って献血へのご協力をお願いいたします。

※献血当日は、お食事をとってからお願いいたします。

- 「献血カード」をお持ちの方は、ご持参ください。
- 血圧の薬は、血圧が安定していれば献血可能であり、痛風治療薬も献血可能となっております。さらに、抗アレルギー薬、高脂血症治療薬(コレステロール)もほとんど緩和されておりますので、服薬中の方は、薬の名前が分かるものをお持ち下さい。 ※詳細は、別添資料を参照願います。
- 医師の判断により、献血をご遠慮いただく場合もございます。

※特に初めて献血される方は献血受付の際、ご自身を確認できる「運転免許証」などのご提示をお願いしております。

お問い合わせ: 福島県赤十字血液センター推進課 024(544)2553

～ あなたの献血で「命を繋げる人」がいます～

400mL献血が必要な理由

輸血を受ける患者さんにとって、200mL献血に比べ400mL献血からの血液を輸血した方が、副作用(発熱、発疹)発生が大幅に減少し安全性が向上するためです。

400mL献血の場合



×2人分

800mLの輸血を必要としたら…

200mL献血の場合



×4人分

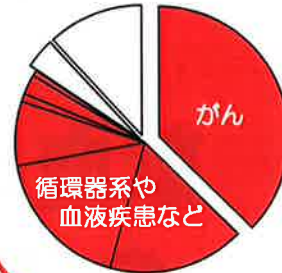
輸血後副作用が発生する可能性

低

今、医療機関では、95%程度が400mL献血による輸血を求めており、200mL献血の需要は5%程度しかありません。

「輸血」の必要な患者さんがたくさんいます

輸血というと、交通事故など大量出血を伴う大ケガをした時に行うものというイメージがありませんか？



実は80%以上が“がん”“白血病”などの病気の治療に使われています。

交通事故など、不慮のけがの治療で使用されているのはごくわずかです。

献血基準が緩和されました

- 高血圧治療薬については、血圧が正常域にコントロールされ、心、腎、血管系に合併症がない場合は**献血可能です**。
- 平成22年1月27日から、1980年から1996年までのイギリス渡航歴による献血制限が緩和されました。これまでは、この間のイギリス滞在歴が1日でもある場合には献血をご遠慮いただいてましたが、今回の制限緩和により、**滞在歴が30日以内の方については献血していただくことが可能となりました。**

検査成績のお知らせ

献血にご協力いただいた方々へ感謝の気持ちとして、健康管理に役立つ「血液検査通知」を郵便にてお知らせしております。

- 生化学検査(7項目)
「ALT」、「 γ -GTP」は肝臓の機能について知ることができ、また「グリコアルブミン」は糖尿病の検査のひとつでもあります。その他にも「コレステロール値」などの項目があります。
- 血球計数検査(8項目)
「赤血球数」、「白血球数」、「血小板」などの項目があり、「ヘモグロビン濃度」は貧血の有無を知る目安となります。

*エイズ検査(HIV検査)目的の献血はお断りしております。

以下に該当する方は献血をご遠慮いただいております

- ①3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯・歯石除去等)を受けた方
- ②4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④エイズ検査が目的の方
- ⑤6ヶ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった



輸血用の血液には有効期限があります



- 赤血球製剤・・・採血後21日間
- 血小板製剤・・・採血後 4日間

輸血用の血液は人工的に造ることができず、また長い期間にわたって保存することもできません。そのため、**絶えず誰かの献血が必要です。**

400mL献血採血基準

- 年齢
男性：17～69歳※
女性：18～69歳※
- 体重
男女とも50kg以上
- 年間献血数量
男性：1,200mL以内
女性：800mL以内

※65～69歳までの方は、60～64歳までに献血の経験がある方に限られます。



献血カードをお持ちの方はぜひ、ご持参ください。
※受付手続きがスムーズに行えます。



献血いただく前にご確認ください



1. 献血カードのご確認

献血カードをお持ちの方は、カードに印字された次回献血可能日をご確認ください。



2. 献血をご遠慮いただく場合についてのご確認

次の項目に該当される方は献血をご遠慮願います。(その他、医師の判断によりご遠慮頂く場合がございます。)



① 体調が悪い方



② 当日飲酒されている方



③ 日以内に出血を伴う
歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方



④ 激しい嘔吐・下痢の方
(1ヵ月以内に発熱を伴う下痢があった方も含む)



⑤ 海外から帰国(入国)して4週間以内の方



⑥ 口内炎やヘルペスのある方



⑦ 切り傷や動物や人などに噛まれた、ひっかき傷等の外傷のある方



⑧ 体重50kg未満の方
400mL献血は体重50kg以上の方にお願いしています。

⑨ 現在妊娠中、または出産後1年以内の授乳中の方

⑩ 6か月以内にピアス・刺青をした方

※ピアスはピアッサーや医療機関であけた方は1か月経過後に献血可能

⑪ 1980年～1996年の間にイギリスに31日以上滞在した方

※その他、海外に長期滞在した方は滞在国により一定期間献血出来ない場合があります

⑫ 中南米に連続して4週間以上滞在または居住し帰国後6か月以内の方

⑬ 今までに大きな病気をした方

※原則としてB型肝炎、がん、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等
ただし、治療後一定期間経過後に献血可能な場合があります。

⑭ 今までに輸血(自己血を除く)や臓器移植を受けた方

⑮ ヒト由来プラセンタ(胎盤)注射薬を使用した事がある方

⑯ 梅毒、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方

⑰ エイズ検査が目的の方

⑱ 6か月以内に次のいずれかに該当する方

- ・ 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった方
- ・ 男性同士での性的接触があった方
- ・ 出産、流産があった方
- ・ 開胸、開腹、開頭等大手術を受けた方

インフルエンザワクチン接種やバリウム検査を含む健康診断を受けた方は24時間以上経過した後、ご協力頂きますようお願い致します。

また2食続けて食事を抜かれた場合や極度に空腹状態にある方は献血をご遠慮頂く場合がございます。

十分な食事と睡眠をとってから献血のご協力を頂きますようお願い致します。

3. 薬の服用と献血できない期間についてのご確認

お薬には、種類や服用期間によって献血できる場合があります。献血の際には、お薬またはお薬手帳をお持ち下さい。下記には主なお薬を示しています。詳しくは検診医師または受付職員にお尋ねください。

(1) 当日服用していても献血できるお薬（ただし献血者の健康状態を考慮し、献血できない場合もあります）

- ◇ ビタミン薬（貧血治療薬、ビタミンKを除く）
- ◇ ミネラル薬（貧血治療薬を除く）
- ◇ 漢方薬（肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く）
- ◇ 抗アレルギー薬（セレスタミンの服用等一部献血できない場合がある）

※市販の花粉症薬・アレルギー性鼻炎薬（アレグラ、アレロック、ジルテック等は献血可能）

- ◇ 高脂血症治療薬（エパデール、ロトリガ等を除く）
- ◇ 胃腸薬（感染性胃腸炎症状のある場合を除く）
- ◇ 高尿酸血症治療薬（コルヒチン等一部献血できない場合がある）
- ◇ 低用量ピル（女性ホルモン）
- ◇ 降圧剤（血圧が安定していれば複数剤の服用でも献血可能）
- ◇ 下剤・市販緩下剤

(2) 前日までの服用であれば献血できるお薬

- ◇ 風邪薬（風邪の症状がない場合）
- ◇ 市販解熱鎮痛薬（アスピリン、パファリン、ロキソニン、PL 顆粒等）
- ◇ 睡眠薬、抗不安薬、安定剤
- ◇ 前立腺肥大症治療薬

(3) 服用中止から3日以上経過していれば献血できるお薬

- ◇ 抗生剤、抗菌薬
- ◇ 抗ウィルス薬
- ◇ 止痢薬（アドソルビン、ロペミン等）
- ◇ ステロイド系抗アレルギー薬（セレスタミン等）
- ◇ 痛風発作治療薬（コルヒチン）
- ◇ 喘息治療薬（発作時の $\beta 2$ 刺激薬、キサンチン誘導体等）
- ◇ 向精神剤（抗不安剤、安定剤を除く）

(4) その他

- ◇ 原疾患に関する薬（糖尿病治療薬、狭心症治療薬、抗不整脈薬、抗凝固系薬、抗腫瘍薬、他）
- ◇ チガソン、テジソン（乾癬治療薬）
- ◇ ラエンネック、メルスモン（ヒト由来プラセンタ）
- ◇ プロペシア、プロスカ等⇒1か月献血不可
- ◇ アボダート、アボルブ、ザガーロ等⇒6か月献血不可

不明な点がございましたら、
お気軽にお尋ねください！

血小板献血の
場合は3日間
あける。



献血不可

※その他にも皆様の健康状態を医師が総合的に判断し、献血をご遠慮して頂く場合があります。

※予防注射も種類によって献血できない期間が異なります。

（インフルエンザワクチンは24時間経過後、B型肝炎ワクチンは2週間後献血可能）

平成30年8月現在
福島県赤十字血液センター

